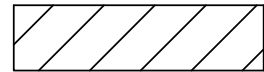
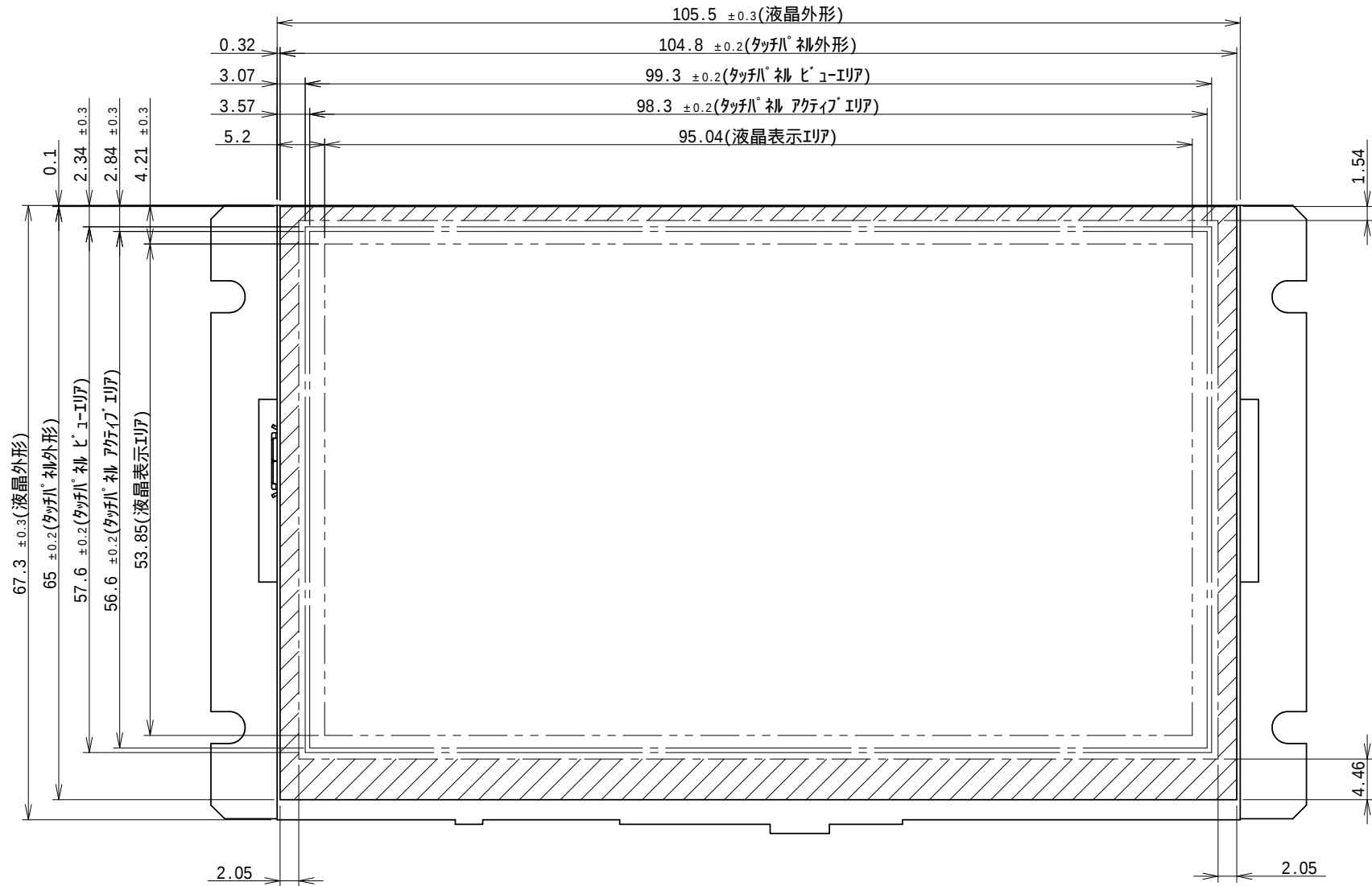


A

B

C

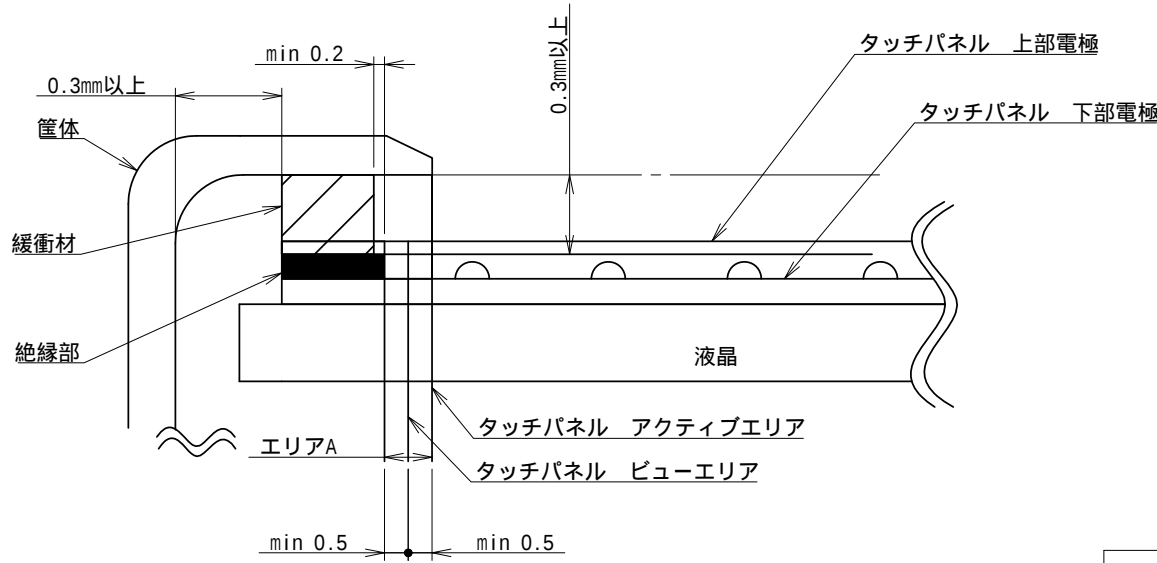
D



緩衝材取付可能範囲

<筐体設計上の注意>

- ・誤操作を避けるために筐体とタッチパネルアクティブエリアが直接接触しないようにしてください
筐体とタッチパネルアクティブエリアの一定間隔(0.2mm~0.3mm)を設けて設計することを推奨します。
- ・筐体の内側とLCDとの隙間を0.2~0.3mm設けて設計することを推奨します。
- ・緩衝材取付可能範囲より内側に緩衝材を取付ないで下さい。
誤動作やタッチパネルの故障の原因になります。
- ・エリアAは破損しやすいエリアとなっています。
大きな圧力によるタッチパネルの割れや変形が発生しますので
スペーサーを取り付ける際は十分に注意して下さい。



筐体設計参考図

指定外寸公差表

公差等級	JISB0405					組立公差
	f	m	c	v		
寸法の区分	精級	中級	粗級	極粗級		
0.5以上 3以下	0.05	0.1	0.2	-	-	-
3をこえ 6以下	0.05	0.1	0.3	0.5	1	1
6をこえ30以下	0.1	0.2	0.5	1	1	1
30をこえ120以下	0.15	0.3	0.8	1.5	2	2
120をこえ400以下	0.2	0.5	1.2	2.5	3	3
400をこえ1000以下	0.3	0.8	2	4	4	4
1000をこえ2000以下	0.5	1.2	3	6	6	6
2000をこえ4000以下	-	2	4	8	8	8

APPROVED	CHECKED	DRAWN	TITLE	液晶詳細図	MATERIL	DATE	2022/7/1
藤本	柳原	河相	TYPE	GOP-LT43A	FINISH	SCALE	3:2
ISHIHYOKI		DWG. No	D 2 1 6 2 1 B - X 1 0 2			mm	0 10
							Total
							配布先